

# メキシコ・オリンピック 【日本選手成績】

1968年10月17～20日=フリースタイル、22～25日=グレコローマン、メキシコ・メキシコシティー

## 【フリースタイル】

階級 (出場選手数)	選手名	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	6回戦	7回戦	順位
52kg級 (23名)	中田 茂男 (自衛隊)	○判定 Baju Baev (ブルガリア)	○判定 Andre Gaudinot (フランス)	○判定 Oh Jung-Yong (韓国)	○判定 Vincenzo Grassi (イタリア)	○フォール Mohammed Lhorbani (イラン)	○判定 Richard Joseph Sanders (米国)	○フォール、4'07" Surenjav Suchebarov (モンゴル)	優勝
57kg級 (21名)	上武 洋次郎 (群馬県協会)	○フォール、2'47" Teran (エクアドル)	○フォール、1'43" Horst Mayer (東ドイツ)	○判定 Zbigniew Zedzicki (ポーランド)	△引き分け Ali Aliev (ソ連)	○判定 Singh (インド)	BYE	△引き分け Abutaleb Gorgori Talebi (イラン)	優勝
63kg級 (23名)	金子 正明 (自衛隊)	○フォール、2'47" Ruz (メキシコ)	○フォール、2'06" Rufino (ドミニカ共和国)	○判定 Teedendambaa (モンゴル)	○フォール、4'31" Choi (韓国)	○判定 Petre Coman (ルーマニア)	△引き分け Eniu Todorov (ブルガリア)	○判定 Shamseddin Seyed-Abassi (イラン)	優勝
70kg級 (26名)	堀内 岩雄 (日大教)	○判定 Buzas (ハンガリー)	○警告 Enache (ルーマニア)	○判定 Pajak (ポーランド)	●判定 Zarbeg Beriashvili (ソ連)	●判定 Wayne Turner Wells (米国)			—
78kg級 (19名)	佐々木 龍雄 (自衛隊)	BYE	○フォール、10'10" Singh (インド)	○判定 Daniel Robin (フランス)	●判定 Sotirov (ブルガリア)	△引き分け Youri Shakhmuradov (ソ連)			4位
87kg級 (22名)	遠藤 茂 (遠藤商会)	△引き分け Wypiorczk (ポーランド)	○判定 Ernst Knoll (西ドイツ)	○判定 Lupe Lara (キューバ)	●フォール、1'19" Thomas Peckham (米国)				—
97kg級 (16名)	川野 俊一 (自衛隊)	○判定 Negut (ルーマニア)	●判定 Jess Lewis (米国)	●判定 Gerd Bachmann (東ドイツ)					—
+97kg級 (15名)	磯貝 頼秀 (千葉・習志野高)	●フォール、1'57" Osman Duraliev (ブルガリア)	●フォール、0'46" Alexander Medved (ソ連)						—

## 【グレコローマン】

階級 (出場選手数)	選手名	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	6回戦	7回戦	順位
52kg級 (24名)	石黒 修一 (日清工業)	●警告失格、7'45" Jussi Vesterinen (フィンランド)	●負傷棄権、2'01" Domenico Centurioni (イタリア)						—
57kg級 (24名)	桜間 幸次 (自衛隊)	○判定 Svensson (スウェーデン)	○警告 Puls (東ドイツ)	○フォール、2'44" Guerr (メキシコ)	△引き分け Ion Baciu (ルーマニア)	●判定 Janos Varga (ハンガリー)			5位
63kg級 (23名)	藤本 英男 (日体大助手)	BYE	○フォール、0'20" Garcia (グアテマラ)	○判定 Jiri Svec (チェコ)	△引き分け Hizir Alekoc (トルコ)	○判定 Dimitar Galintshiev (ブルガリア)	○判定 Simion Popescu (ルーマニア)	△引き分け Roman Rurua (ソ連)	2位
70kg級 (26名)	宗村 宗二 (フリー)	○警告、8'54" Piero Bellotti (イタリア)	○判定 Vario (アルゼンチン)	○フォール、8'27" Marchand (フランス)	○判定 Antal Steer (ハンガリー)	△引き分け Eero Tapio (フィンランド)	○判定 Petros Galaktopoulos (ギリシャ)	△引き分け Stevan Horvat (ユーゴスラビア)	優勝
78kg級 (22名)	田代 俊郎 (中大教)	●判定 Mohmoud (シリア)	●判定 Franz Berger (オーストリア)						—
87kg級 (19名)	開 健次郎 (自衛隊)	●両者警告、7'20" Nystrom (スウェーデン)	●フォール、4'41" Lothar Metz (東ドイツ)						—
97kg級 (16名)	長尾 猛司 (自衛隊)	○フォール、5'05" Millard (カナダ)	●フォール、2'42" Prłowski (ポーランド)	●フォール、3'52" Nikolai Yakovenko (ソ連)					—
+97kg級 (15名)	磯貝 頼秀 (千葉・習志野高)	●フォール、1'19" Utterheaege (フランス)	●フォール、0'38" Istvan Kozma (ハンガリー)						—

※当時の階級の呼称は、52kg級=フライ級、57kg級=バンタム級、63kg級=フェザー級、70kg級=ライト級、78kg級=ウェルター級、87kg級=ミドル級、97kg級=ライトヘビー級、+97kg級=ヘビー級